

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社プレパレーション

② 施設・事業所情報

名称：AIAI NURSERY宮前平	種別：認可保育園	
代表者氏名：高橋 祐子	定員（利用人数）： 64名	
所在地：川崎市宮前区土橋2-1-7		
TEL：044-750-7288	ホームページ： https://nursery.aiai-cc.co.jp/facility/miyamaedaira/	
【施設・事業所の概要】認可保育所、発達支援事業所、放課後デイサービスの運営		
開設年月日 2007/1/22		
経営法人・設置主体（法人名等）：AIAI Child Care株式会社		
職員数	常勤職員： 10名 非常勤職員 9名	
専門職員	（栄養士： 1名）	
	（管理栄養士 2名）	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 6	子どもトイレ
	遊戯室 1	大人トイレ
	更衣室 1	園庭 有(○) 無()
	事務室 1	その他
	調乳室 1	

③ 理念・基本方針

一人でも多くの子どもが人間が生まれながらに持っている素晴らしい力を育むことに喜びを感じ笑顔と原価が溢れた園を創造すること

④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ・特化型学習プログラムを取り入れている
- ・子どもを夢中にする園庭遊具A I N Iがある

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年5月1日（契約日） ～ 2023年12月7日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥ 総評

◇ 特長や今後期待される点

- ・「幼児教育」学習プログラムを取り入れています
AIAI NURSERY宮前平では、日々の保育の中で知識教育・思考教育プログラムを取り入れています。知識教育では、3・4歳児は読み書き（ひらがな・カタカナ・数字・アルファベット）、5歳児はモンテッソーリ教育の理念に基づく英語学習と年齢に沿った学びを取り入れています。園にはプレイルーム（学習室）があり、子どもが日々の活動と場面の切り替えがしやすいよう環境設定しています。知識教育は子ども一人ひとりの発達に応じた無理のないペースで取り組んでいます。

- ・子ども達が安心して過ごせる環境が整っています

ユニークな形の園舎に広い園庭があり、子どもたちが長い時間過ごす施設として最適な環境です。園庭には子どもたちが主体的に遊びこめるようにAINI（大型遊具）を導入しています。つかまる、登る、すべるなど、年齢や発達に合わせて身体の様々な部位を使い、想像力を働かせながら身体を動かせる遊具です。また園庭の端には大きな栗の木があり、子どもたちを見下ろしています。子どもたちは、春夏秋冬、大木を見上げ、自然や季節の移ろいを感じる事が出来ます。

園内は落ち着いた色合いで統一され、保育室の高い天井にはファンが回っています。収納が充実しているため各保育室の中が整然と整理されており、子どもたちが落ち着いて過ごせる環境が整っています。また、各保育室には小さめのソファや丸いテーブルが配置され、園のコンセプトである「もうひとつのいえ」が見事に再現されています。2階フロアはパーテーションを開きホールとして使用できます。幼児は散歩や戸外遊びが出来ない日もホールでトランポリンや跳び箱、マット、鉄棒などを使用して身体を動かしています。

玩具の整え方やコーナーの作り方、手作りの椅子などに保育者の優しい気遣いや思いが感じられます。一方、乳幼児突然死症候群予防の為にCCSセンサーや連絡帳アプリの導入、おむつのサブスクなど、最新の機器やサービスも取り入れ、子どもにも保護者にも優しく安全な環境を提供しています。

- ・職員の採用・育成・定着に向けての体制を整備しています

法人の採用活動では、系列園の見学会バスツアーやオンライン説明会を実施するなど、独自の工夫した取り組みを実施しています。さらに、職員のキャリアパスフレームを明確に示しており、教育制度の充実などキャリア形成に向けての体制を整備しています。今後も職員の採用・育成・定着に向けた取り組みに期待します。

- ・小学校や他園、地域との交流を通して、社会体験を増やすことが求められています

コロナ禍で開園した為、小学校や他園と交流する機会が無いまま現在に至っています。就学前に、小学校内を見学し小学生と交流する機会をもつことにより、子どもたちは小学校生活に見通しを持つことが出来ます。コロナウィルス感染症が5類に移行したので、少しずつ小学校との連携を取り、進めていくことが求められます。更に、子どもたちが保育園の枠を超えて社会とのつながりが持てるよう、地域の施設や他園、地域の方々との交流の機会を増やすことが求められます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

・小学校や地域の交流がコロナの状況のまま、交流の機会を設けていませんでした。今後は地域交流や他園交流を積極的に取り入れていくようにいたします。子どもたちがさらに楽しく過ごせるような環境作りに努めてまいります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり